



中国日本商会

今どきコラムー113

中国雑談

### 企業の新卒求人数が5割増、平均給与もアップ

またもや就職活動シーズンがやってきた。6月15日、求人サイトの「BOSS直聘」が発表した、「2021年新卒生就業趨勢報告」（以下「就業報告」と略す）によると、2021年大学・専門学校の新卒求人市場は昨年に比べ顕著に回復しており、求人数は前年同期比52.5%増で、平均求人月給は6112円で、前年同期比4.7%増となっている。

データによると、2021年春の求人シーズンには、さまざまな規模の企業の新卒採用が前年同期比で40%以上増加しており、中でも一万人以上の規模をもつ大型企業の新卒求人数は前年同期比59.6%増にまで達している。

「就業報告」はさらに、2021年には50%を超える新卒生が20人以下の小企業の求人に興味を示していて、前年同期よりも顕著に回復しているという。

### 新一線都市が求人の主力軍

就業都市からみると、「就業報告」では、2021年に学校に出された求人の62%が一線及び新一線都市からのもので、中でも新一線都市（成都、重慶、杭州、武漢、西安、天津、蘇州、南京、鄭州、長沙、東莞、瀋陽、青島、合肥、仏山）の学校に対する求人が37%を占め、前年同期比4%増で、2021年の新卒生求人の主力軍となっている。一線都市（北京、上海、広州、深圳）の求人数の割合は25%で、前年同期比4%減であった。

### 情報技術類サービス業が新卒生の一番人気



業界選択については、「就業報告」によると、2021年の新卒生が最も注目する業界トップ5は、

- (1) 情報発信、ソフトウェア、情報技術サービス業 17.7%
- (2) 卸売と小売業 17.2%
- (3) 教育 12.9%
- (4) リースとビジネスサービス業 12.5%
- (5) 科学研究と技術サービス業 9%

となっている。

デジタル技術、医療・ヘルスケア、スマート製造及び教育分野は高学歴の新卒生に人気があり、その人気は持続的にエスカレートしている。「就業報告」によると、2021年にこれらの産業の新卒博士に対する求人は前年同期比 75.7%増にまで達していて、平均求人月給は 24775 元、デジタル技術類ポストの新卒博士生の平均求人月給は 31785 元に達している。

### 「新インフラ」分野の求人が急増、シルバー産業の求人は需給がミスマッチ

2021年春の新卒採用の求人規模が前年同期比で増加が速かった業界トップ3は、(1) 新エネルギー/環境保護 (2) 農林・牧畜・漁業 (3) 公共管理・社会保障・社会組織で、それぞれ 225%、115%、104%の増加であった。

「第5世代移動通信システム(5G)」、ビッグデータ、クラウド・コンピューティング、インテリジェント、新エネルギー自動車および自動運転などの「新インフラ」分野の新卒生求人数も、前年同期比で 57.6%増に達し、平均求人給与は前年同期比 9.2%増、8393 元にまで達していて、新卒生全体の平均求人給与を超えている。

新インフラの中心的な求人のうち、スマートハードウェア関連の求人が最も急増していて、前年同期比 102%増の規模となり、給与も前年同期比 28%増となっている。



2021年、サプライチェーン / 物流方面の高学歴人材への求人も爆発的に増え、修士に対する求人が前年同期比 260% 増となった。

上記のいくつかの業界では供給も需要も「熱い」状況にあるのとは異なり、シルバー産業の需給エンドには構造的ミスマッチが存在する。現在、シルバー産業の新卒生に対する需要は新一線都市に集中している。5月時点で、シルバー産業関連の新卒求人の規模は前年同期比 51% 増であるが、それはおもに敷居がやや低い営業などの基礎型ポストに集中していて、給与競争力も高くはなく、営業類のポストに就くことを希望する新卒生がシルバー産業に注目することは多くはない。

日本企業（中国）研究院 執行院長

[chenyan5931@163.com](mailto:chenyan5931@163.com)